

## 「観光再始動による商店街活性化の取り組みについて」

新潟経営大学経営情報学部  
特任教授 近藤 政幸

### 1. 趣旨

令和5年度加茂市商工観光課の事業提案（観光による商店街来訪者拡大）と共に新潟経営大学経営学実地研究「観光まちづくり」の学生が取り組んだ観光まちづくり研究である。

研究の背景として、直近30年間で店舗数と担い手が半減した加茂市商店街の存在と、隣接する加茂山公園などに年間30万人の観光客来訪実績があることを踏まえて、商店街活性化対策として観光的アプローチの分析と研究を進めることになった。

商店街店主の高齢化、後継者不足、ネット社会における消費者の商慣習変容等による商店街空洞化をうけて、商業集積を観光まちづくり化することで活性化する試みをおこなった。

### 2. 事業概要・取り組み内容

加茂市商店街の観光化による活性化研究のアプローチとして、三者（学生、店主、来訪者）の研究を行い、各主体者の商店街における「経験価値<sup>i)</sup>」、「認識と評価」を収集、分析する事業を行った。

- 1) 昨年度に引続き、新潟経営大生による商店街まち歩きのアンケート調査および分析をおこなった。
- 2) ゴールデンウィーク（GW）の機会をとらえ、加茂川鯉のぼりや加茂山公園来訪者への商店街関係のアンケート調査を初めて行い、得られた回答250件の分析をおこなった。
- 3) 前述GWアンケート調査結果の報告会を開催し、商店街組合へのヒアリングをおこなった。また、商店街における伝統工芸、日本料理店主などへのヒアリングをおこなった。

### 3. 研究成果

- 1) 経大生の2年連続による商店街活性化対策の分析を行い、意見をまとめた。
- 2) GWに商店街隣接の加茂山公園、加茂川鯉のぼりの来訪者に初めてアンケートを実施し250名から回答を得た。その結果、イベント、加茂の食旅、小京都加茂に因む体験型観光を希望する来訪者が多いことが明らかになった。
- 3) 加茂商店街に店舗、施設、工房をもつ伝統工芸関係者から、自らの「体験と交流プログラム」の開発・運営に際して文書にて同意を得た。

### 4. 考察とまとめ

・3で得られた商店街にもとめられる観光体験と交流プログラムを分類し、これを商店街組合に対し説明会を開催し、あらためて商店街に滞在する体験価値を明確にする必要があることがわかる。

・加茂商店街の主要7街にある経験価値の高い「体験と交流プログラム」を商店街来訪コンテンツとして、モノだけではなくコトを地域ブランド化する事業展開を提案する。

注 i : 経験価値の説明 Entertainment, Education, Esthetic, Escape, Experience, Exchange (P/J/Girmore, Pine, Experince Economy)

# 観光の力で交流人口獲得の研究 —加茂商店街と七谷アンケート調査報告—

**4月9日** 歩きたくなる加茂の道 12選 ● 宮寄上

**水鏡と稲穂の棚田** 約 6.3km 315kcal

制作：新潟経営大学経営学実地研究（観光まちづくり）、こいて、LFR design

大自然が作った河岸段丘に人は棚田を作り、美しい景観で魅了します

**河岸段丘** は、川が長い年月をかけて土地を削り、それが段状になることで形成されています。そこに人は棚田、畑、田作り、生活定着してきました。加茂川の水に田に導く用水路は、先人の知恵を伝えています。各所に残る神々が、この地に住む人々の信仰の厚さを物語ります。

**【宮寄上の地名の由来】**  
南北朝の戦乱期、後醍醐天皇の皇子・宗良親王が越後に逃れてきた伝説に由来する。御前清水、御所の平等の地名も連る。御山寺前には親王の歌碑が建つ。

**5月** 歩きたくなる加茂の道 12選 ● 加茂川河川敷

**鯉よりダンゴ？カフェめぐり** 約 3.9km 193kcal

制作：新潟経営大学経営学実地研究（観光まちづくり）、こいて、LFR design

約 500 流の鯉が川風に舞う！加茂川河川敷は誰でも歩ける市民の憩いの場

**鯉のぼり**  
毎年4月～5月にかけて加茂川河川敷に鯉のぼりが泳ぎだします。1989年から始まったこのイベントは、年を過ごすに歌が囃え、遊べる、触れる鯉のぼりとして歩くの作風、観光にも愛されています。また、市内にはオシャレなカフェが多く、町歩きで疲れた体をそっと癒やしてくれます。あなたのお気に入りの店を見つけてください。

研究者  
今成愛奈・俵卓磨・本間楓・鈴木裕翔・鶴巻古々奈  
矢部美空・山倉彪久・小林優月・田中洋志・高橋俊一

担当教員  
近藤政幸

# 経営学実地研究（観光まちづくり）

## 『観光再始動による加茂市商店街活性化の取組み』

加茂山・鯉のぼりと七谷地区アンケート調査より

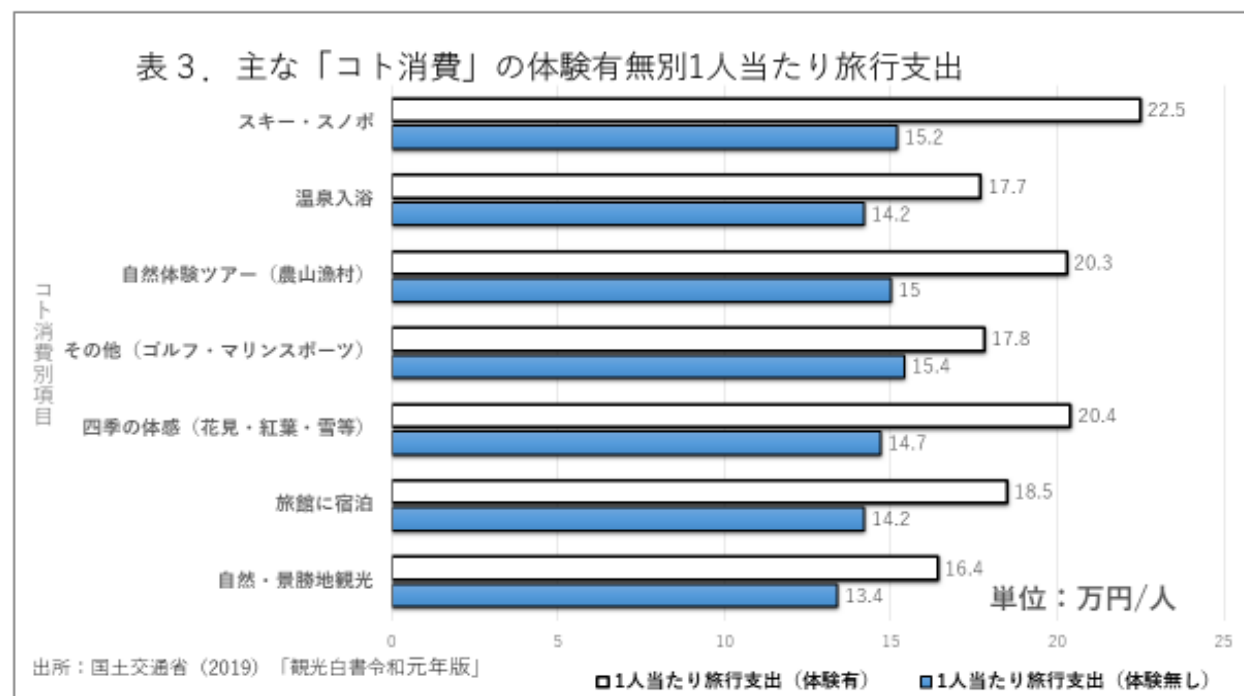
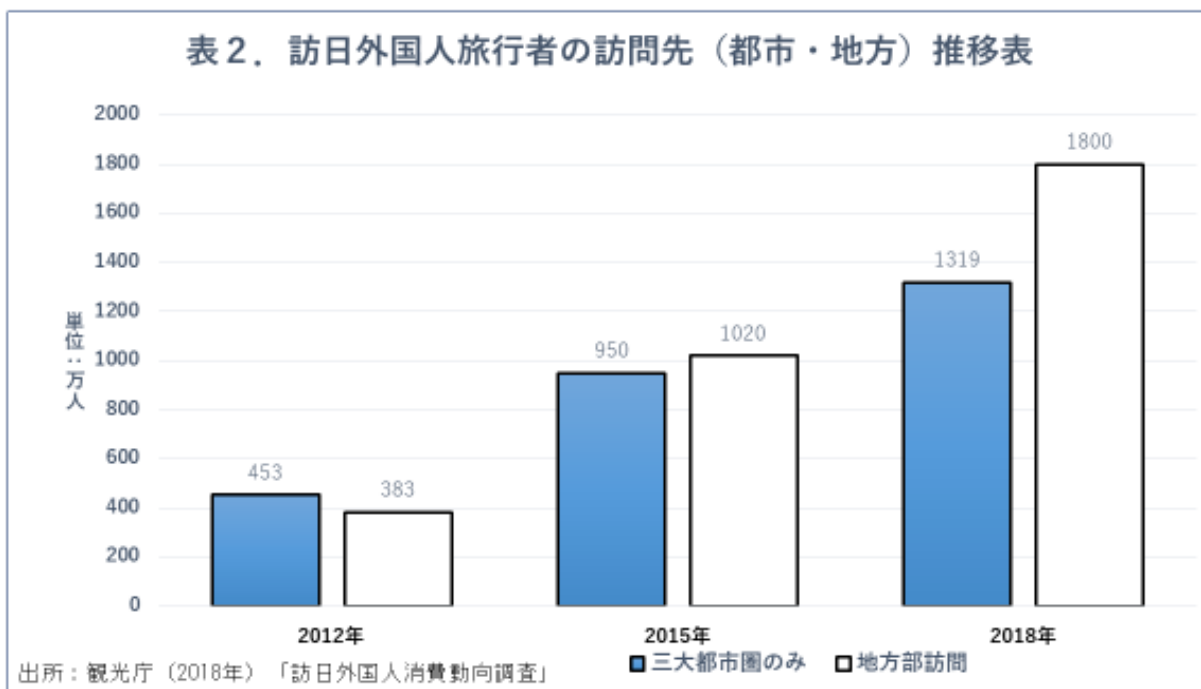
1. 商店街の観光的アプローチによる調査の背景
2. 3種の調査結果
  - ①学生の商店街まち歩きアンケート・②来訪者アンケート（商店街・七谷）
  - ③加茂商店街組合員への聞き取り
3. アンケート結果の考察

発表者：今成 愛奈 本間 楓 鶴巻 古々奈

# 1. 加茂市商店街の観光的アプローチによる調査の背景

2023年 観光再始動 <第4次観光立国推進基本計画>

- ・ 観光消費
- ・ 地方の誘客促進
- ・ 持続可能性





# 観光・交流人口の経済効果

定住人口1人当たり年間消費額（130万円）は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者（宿泊）23人分、国内日帰り75人分

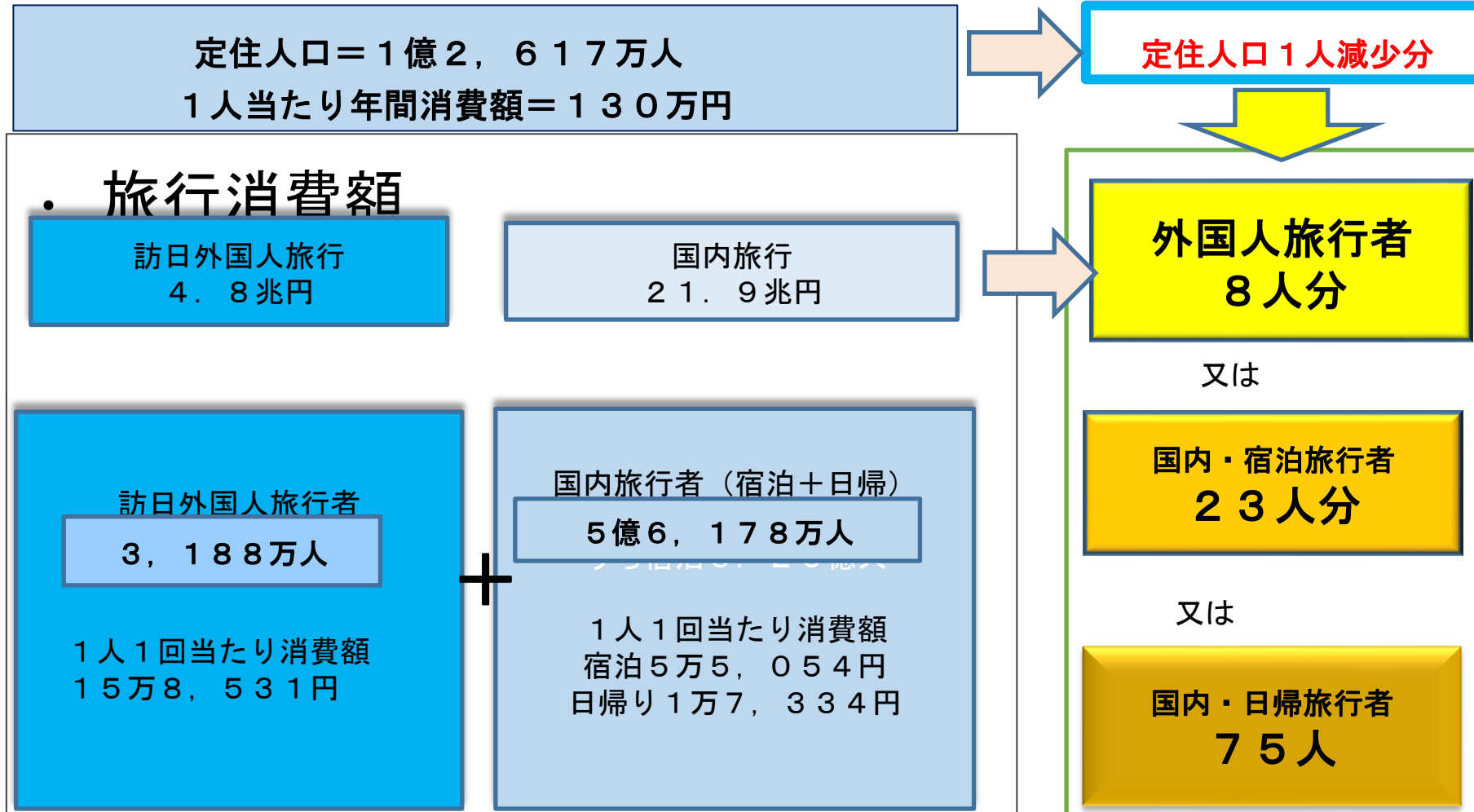
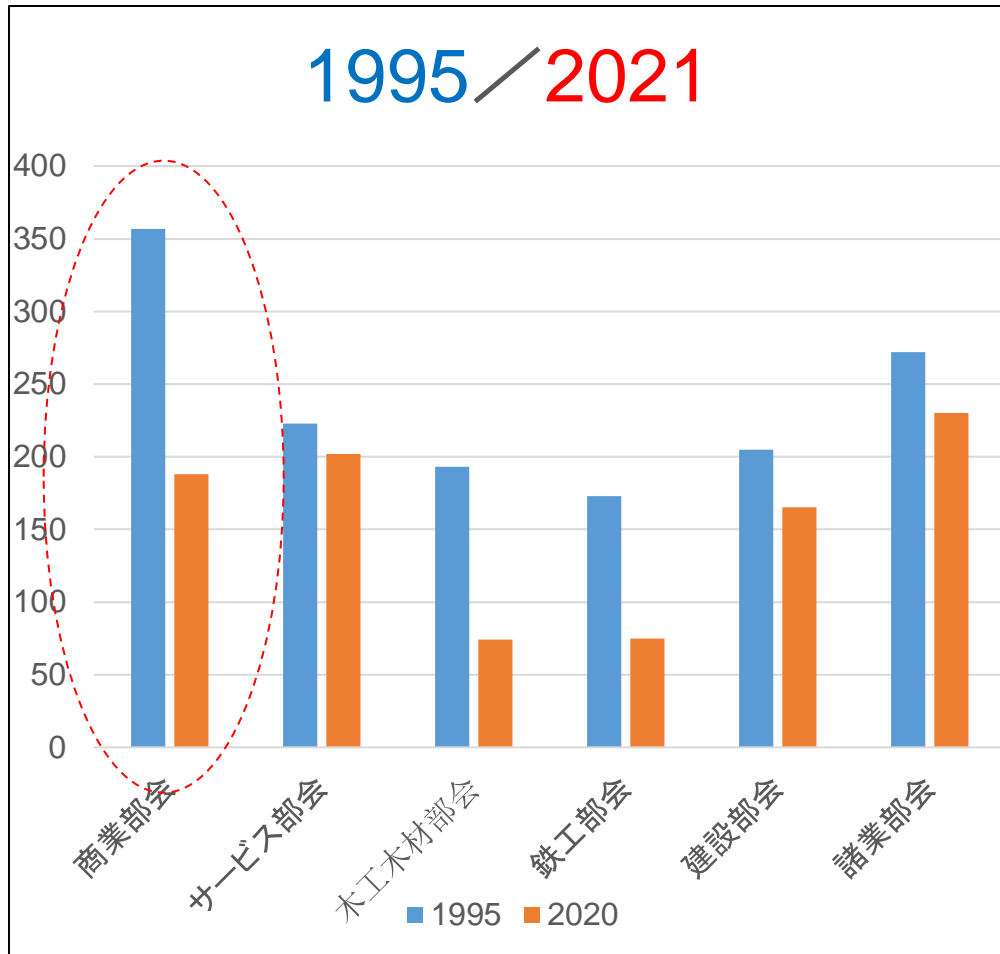
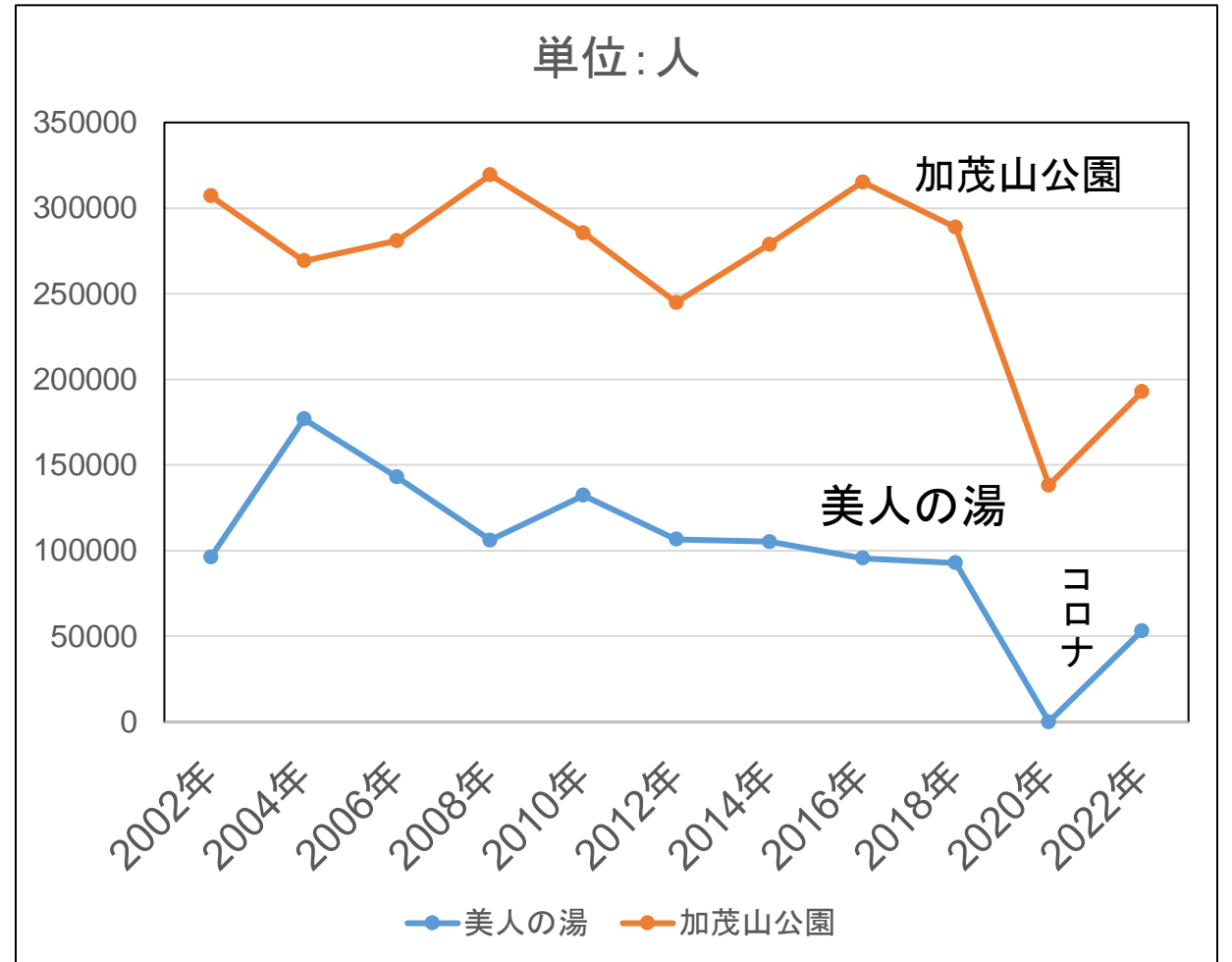


図. 加茂商工会議所会員数  
商業部会 30年で50%減



出典：加茂商工会議所（2021）

図 加茂山公園30万人/年、美人の湯10万人/年



出典：新潟県観光統計（2010～2022年） 加茂市商工観光課（2002～2010年）

# 研究計画3種（学生・来訪者・商店主）

- 研究計画案：  
加茂商店街は、加茂山・加茂川に隣接する商店街。  
観光の力で商店街に新規客を誘致するための情報収集と分析  
目的：年間30万人観光のまちに求められるコト体験消費明らかにしたい
- 研究方法：
  1. 学生によるまち歩き調査
  2. 加茂山に観光客が戻る5月に来訪者アンケート調査 初  
こいのぼり客が戻る5月に来訪者アンケート調査 初  
七谷の観光資源の再調査と来訪者調査 初
  3. 加茂商店街店主と伝統工芸家ヒアリング調査

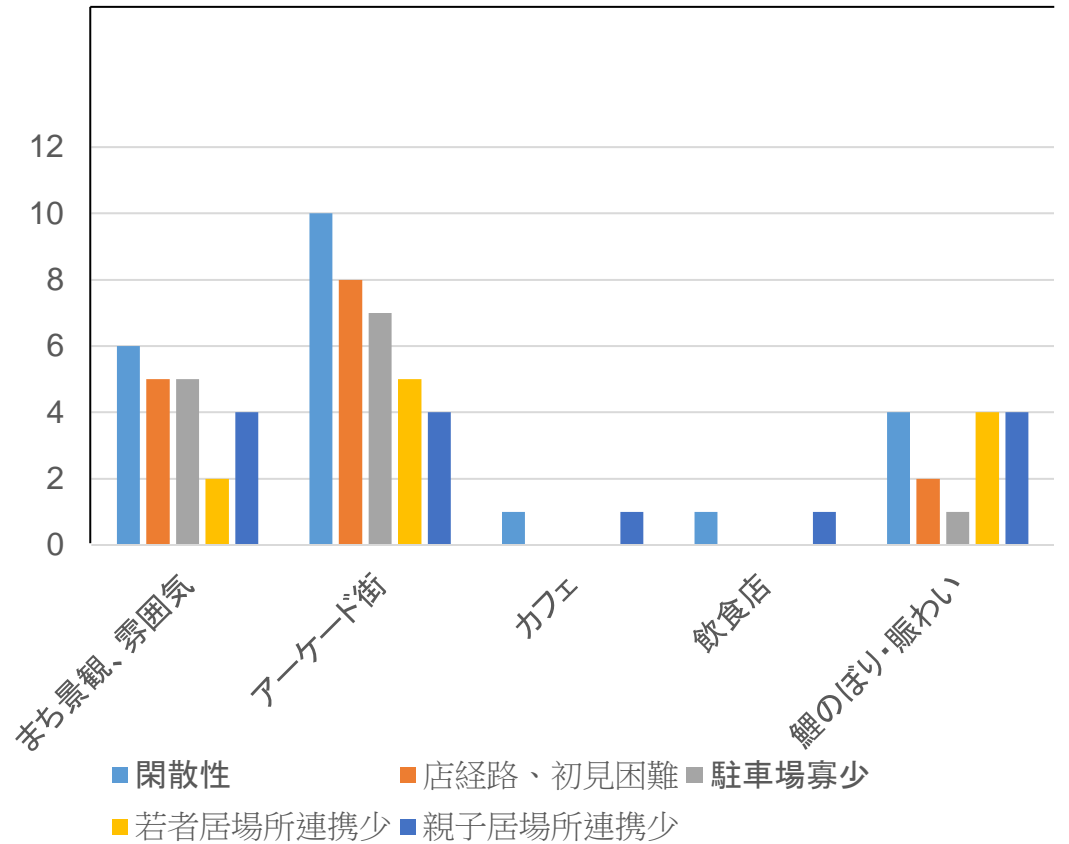
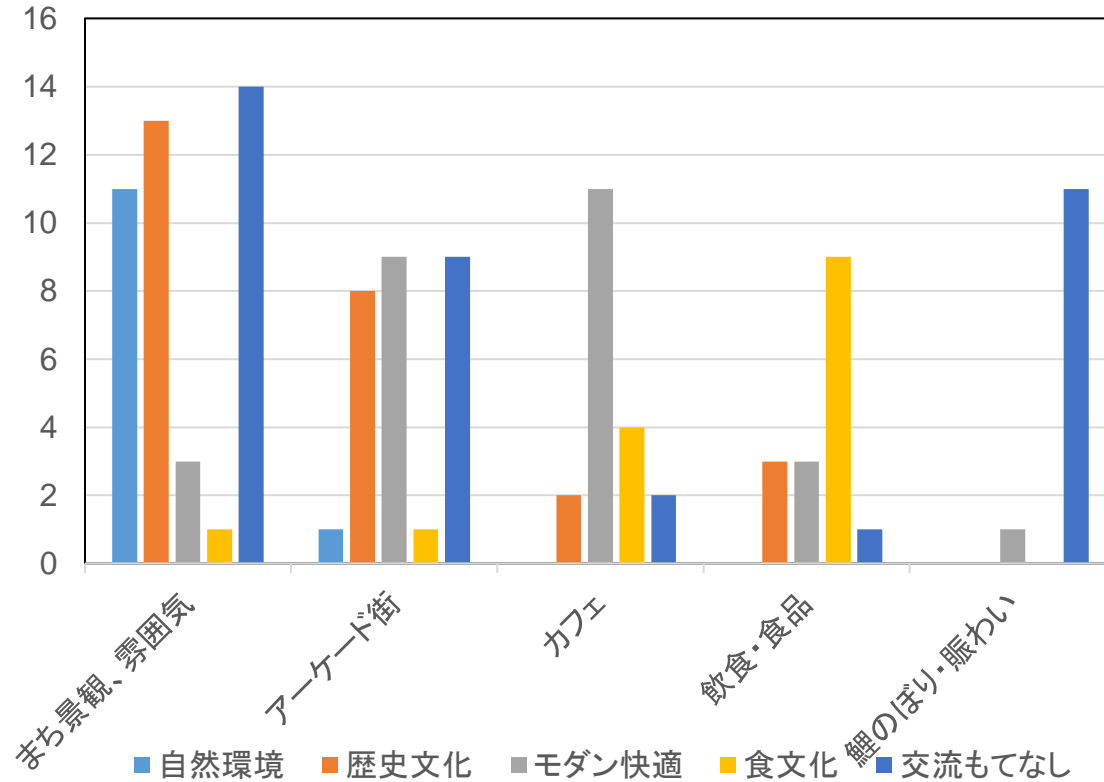


# 2-1. 学生によるまち歩き調査結果

## 商店街と加茂まち歩きで魅力感じた場所 5ヶ所

2022年4月、17名

2023年4月、10名

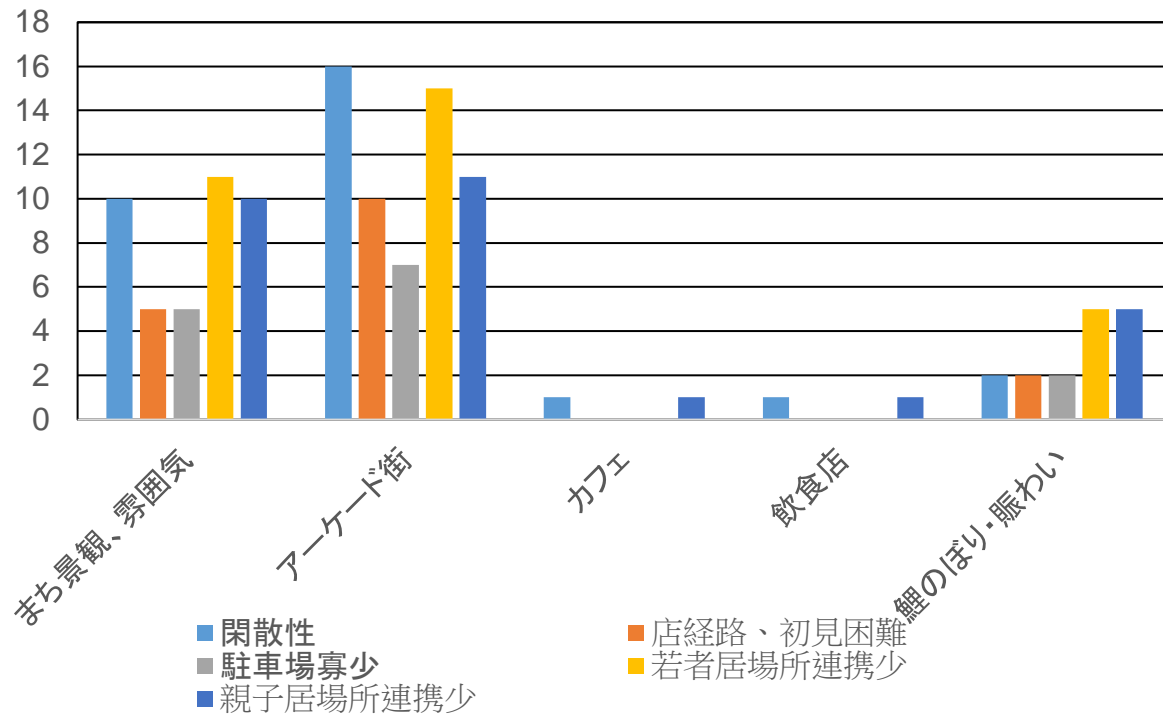


- 自然（加茂山・加茂川）にかこまれた商店街
- きれいな町並み、歴史文化の景観

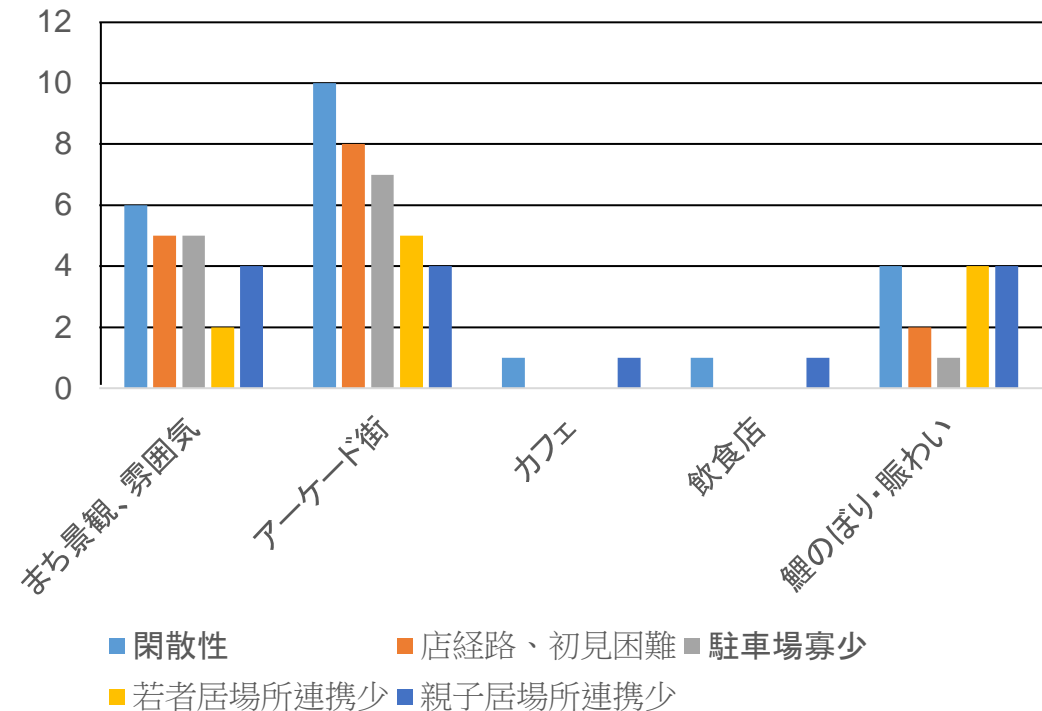
## 2-2. 学生調査結果

# 商店街と加茂まち歩きで感じた課題 5ヶ所

2022年4月、17名



2023年4月、10名



- 町並みが閑散とした印象
- 学園都市なのに商店街を歩いている学生が少ない
- 若者や親子連れが長時間滞在しにくい、手作り感の店、少ない

# 2-2. 加茂山公園、加茂川鯉のぼり 商店街隣接地来訪者アンケート調査結果

アンケート件数 n250

アンケート調査実施日：2023年4月29日・30日・5月3日・4日

アンケート調査地：4月29日・5月3日・4日加茂市加茂川鯉のぼり会場、4月30日加茂山公園、  
4月29日より5月7日まで日本料理きふね  
有効票250件、無効票18件

新潟経営大学 経営学実地研究（観光まちづくり）

今成愛奈・本間楓・俵卓磨・鶴巻古々奈・鈴木裕翔・小林優月・矢部美空・山倉彪久、高橋俊一、田中洋志

協力：加茂市役所、加茂商工会議所、加茂商店街協同組合、穀町商店街組合、新潟経営大学  
青海神社、Koite、(株)K-walk、日本料理きふね、永山光夫

# アンケート項目、目的：商店街の過ごし方明確化

## ・属性

- ①お住まいの地域・②性別・③年齢
- ④同行者とのご関係
- ⑤ご来場の交通機関
- ⑥鯉のぼりイベント参加の有無
- ⑦鯉のぼりイベント評価
- ⑧同イベント情報入手経路
- ⑨加茂山公園周遊 参加の有無
- ⑩加茂山公園の評価
- ⑪加茂山公園 情報入手経路

## ⑫加茂商店街の認知

## ⑬同商店街の利用頻度

## ⑭同商店街の魅力度

## ⑮同商店街にてご利用店舗(業種)

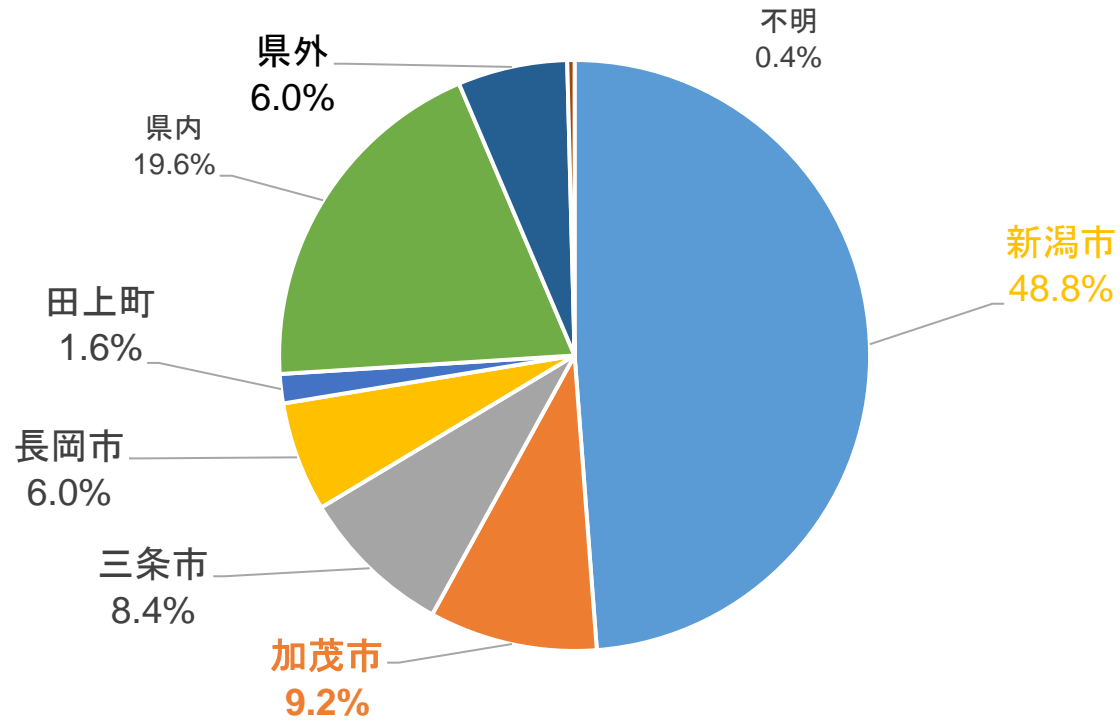
## ⑯商店街に何があればいく機会増える

イベント、一店逸品、名物食、旬の食堂、酒蔵見学、桐たんす工房、きものまち歩き、加茂川ヨガ、紙漉き、名所めぐり、カフェめぐり、チャレンジショップ、発酵ショップ

## ⑰加茂商店街の改善点

休憩場、店舗の業種のわかりやすさ、駐車場、きれいなトイレ、若人向け店舗、魅力的イベント

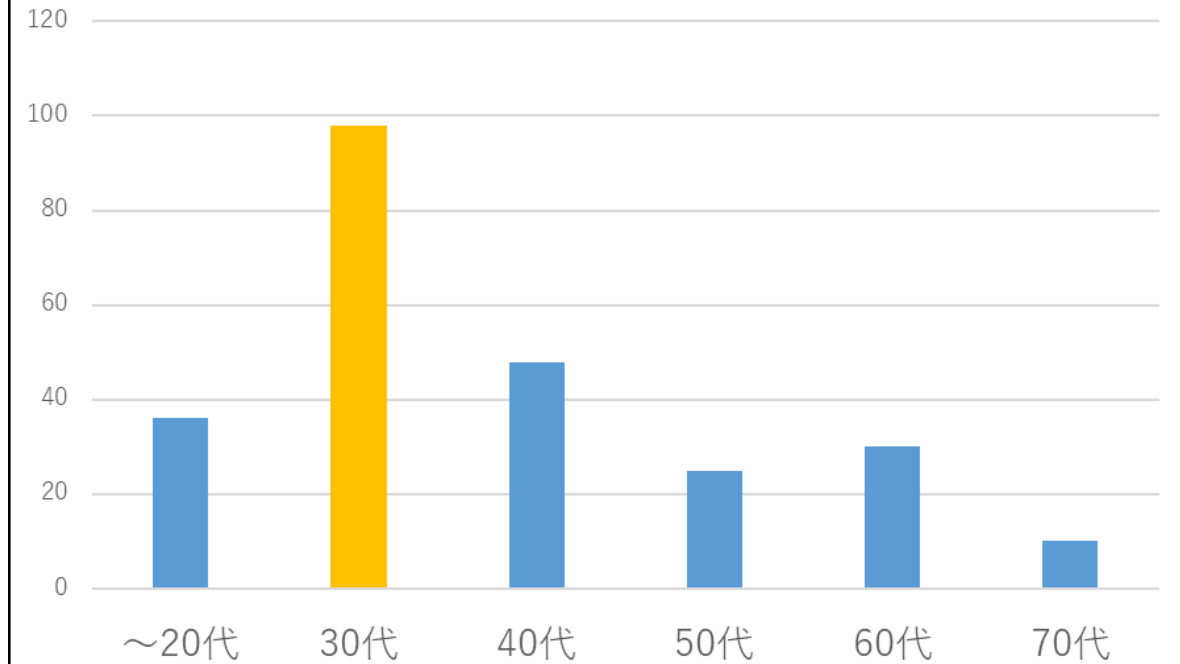
## Q1 お住まい



新潟市122人 (48.8%) その他県内49人 (19.6%)  
加茂市23人 (9.2%) 三条市21人 (8.4%)  
長岡市15人 (6%) 県外15人 (6%)  
田上町4人 (1.6%)

全体の90%の方が加茂市外からお越しいただいた。  
内訳、新潟市が約半数、122人を占め、三条市が8%、  
長岡と県外客が各々6%、県内その他都市の方が20%

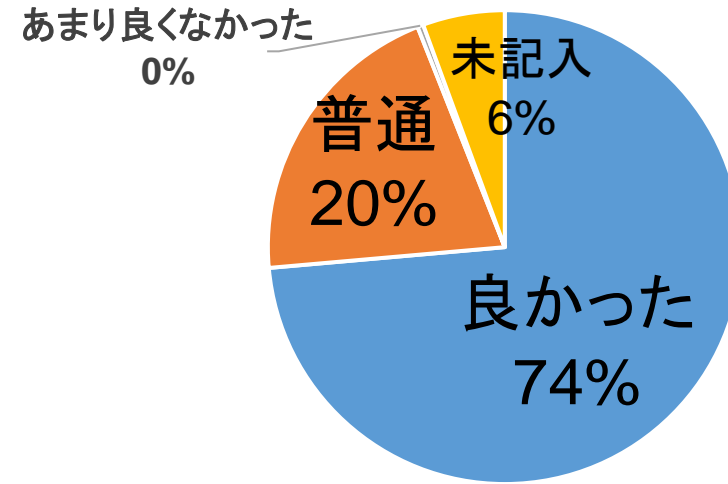
## Q3ご年齢



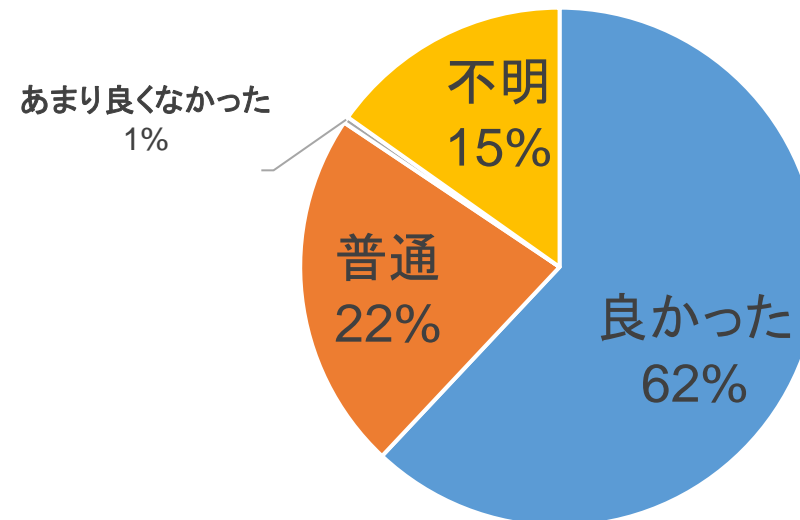
20代まで36人 (14.4%) 30代98人 (39.2%)  
40代48人 (19.2%) 50代25人 (10%)  
60代30人 (12%) 70代10人 (4%)

20才代までの若者が14%  
30才代と40才代で全体の6割弱、150人が  
若い家族連れと受け取れる。  
50才代から70才代までの26%、65人は  
多くが若い家族の付き添いとみられる。

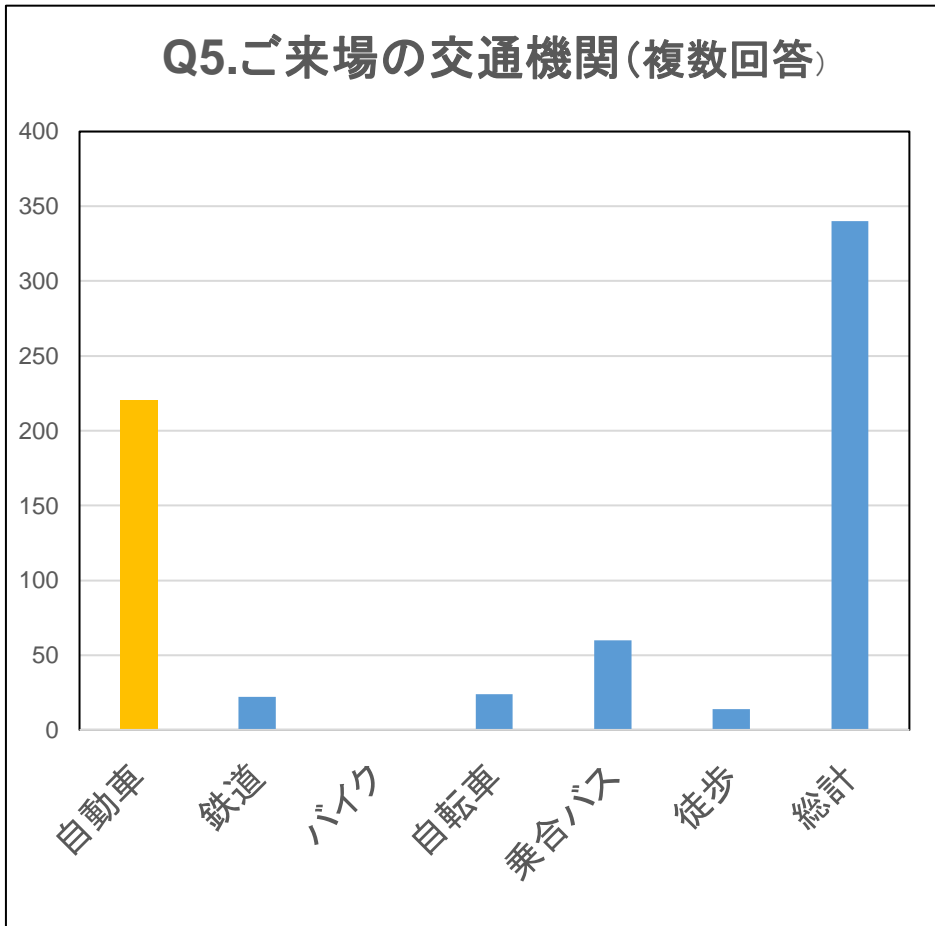
## Q7 加茂川鯉のぼりイベントの評価



## Q10 加茂山公園評価

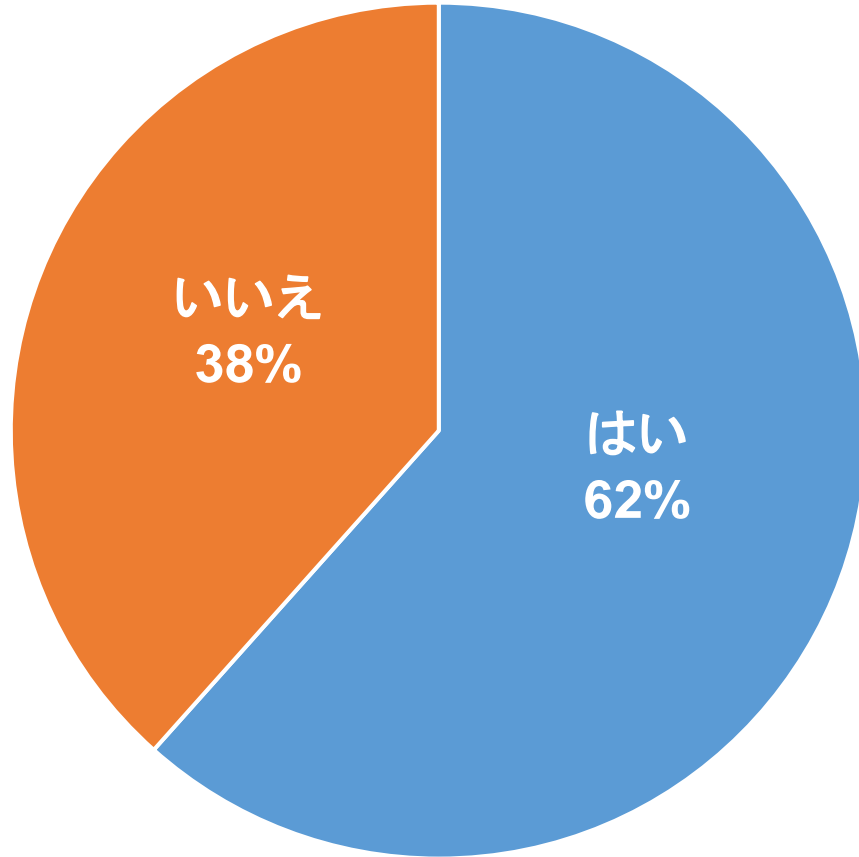


## Q5.ご来場の交通機関(複数回答)

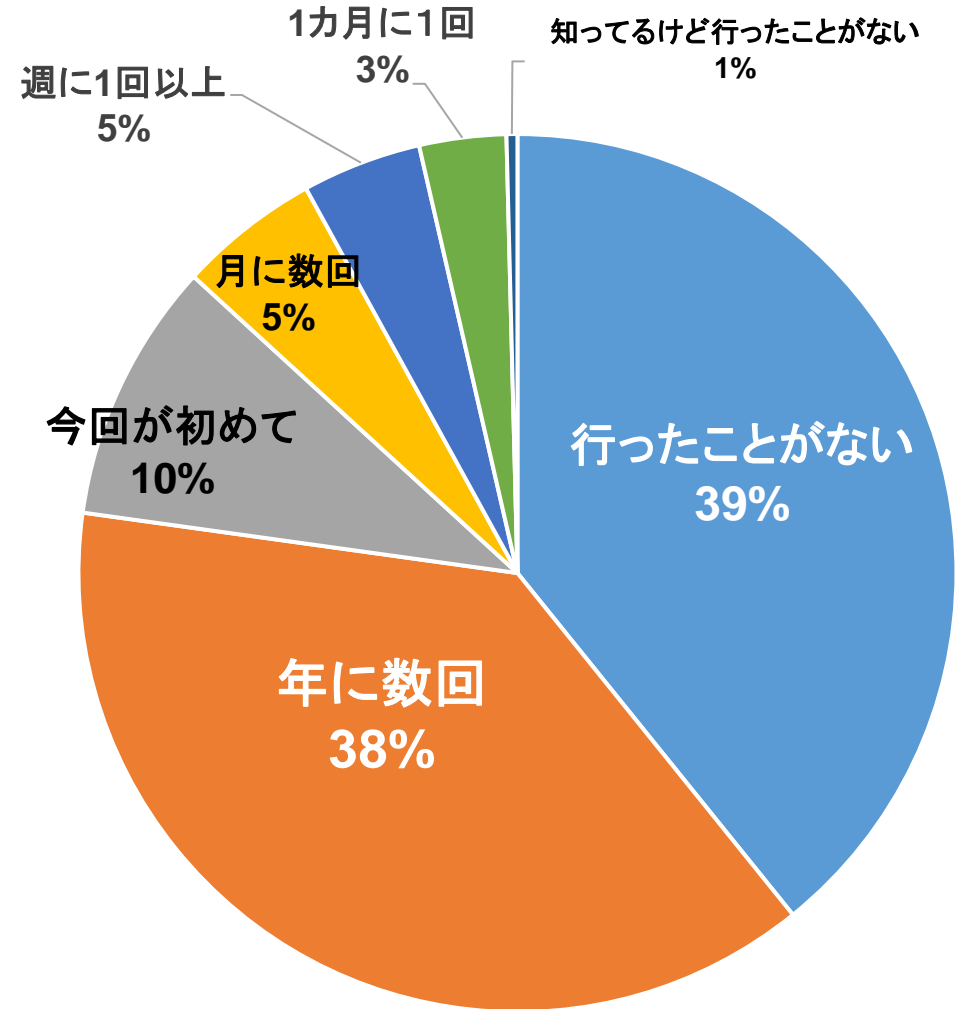




Q12 加茂商店街をご存じですか



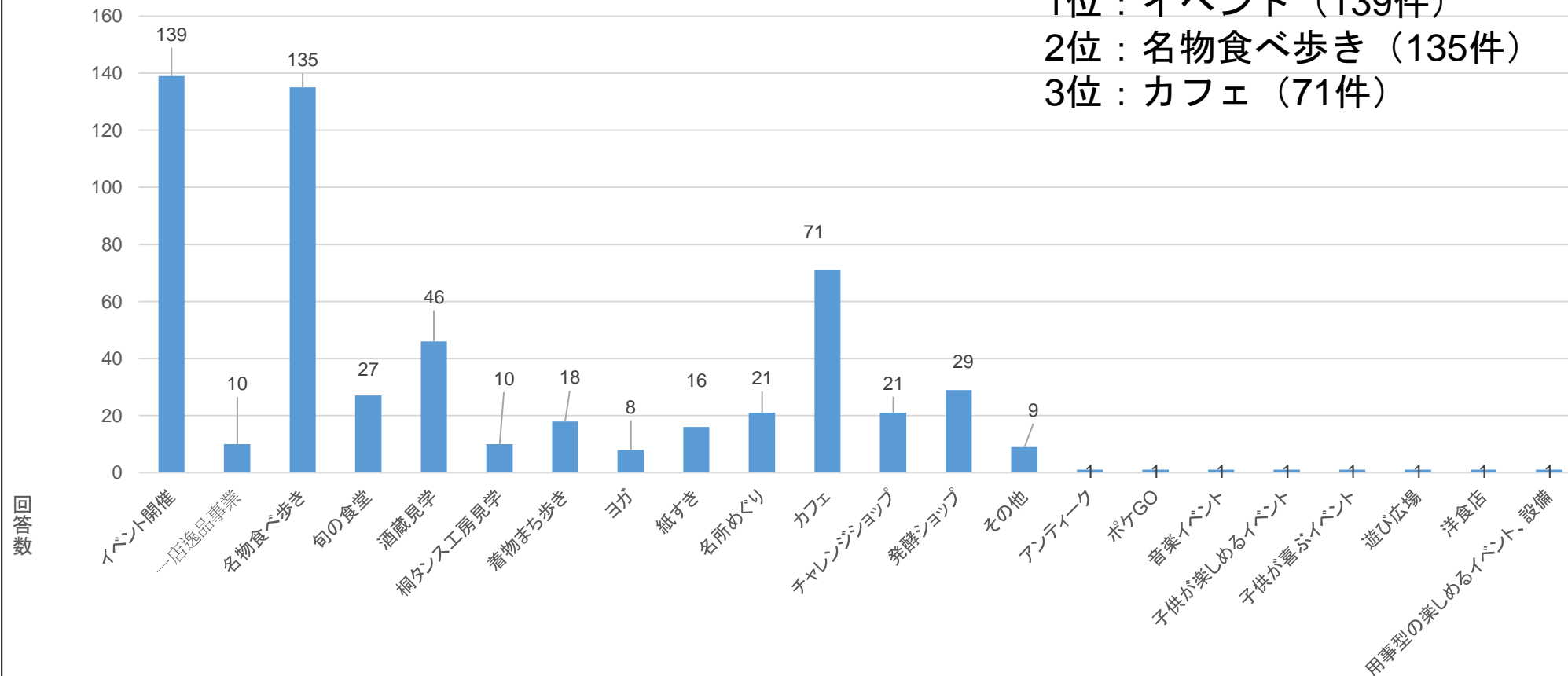
Q13 加茂商店街の利用頻度



- 観光目的客の38%は加茂商店街の存在を認識していない。  
行っていない→消費に結びついていない

## Q16.商店街に何があれば行くか※複数回答 n568件

1位：イベント（139件）  
2位：名物食べ歩き（135件）  
3位：カフェ（71件）



1位イベント139（24.5%）、2位名物食べ歩き135（23.8%）、3位カフェ71（12.5%）、4位酒蔵見学46（8.1%）  
5位発酵ショップ29（5.1%）、6位旬の食堂27（4.8%）、7位歴史名所めぐり、チャレンジ店各21（各3.7%）  
8位着物まち歩き18（3.2%）、9位紙漉き16（2.8%）、10位桐たんす、一店逸品事業各10（各1.8%）

# 3-1. 商店主聞取り

## 加茂市穀町商店街組合

- 当商店街に新たに10店舗拡大した。  
⇒美容店4軒、飲食店3軒、古着店1軒、土産店1軒、政党事務所
- 新店舗の特徴  
⇒小規模、合理的価格の商品、家賃が安め、駐車即入店（路上駐車が可能）
- 組合の行動特性の変化  
⇒商店街補助事業に組合一丸となって取り組む姿勢が強まる  
組合会議、アーケード掃除、イベントに全員参加と協力

## 日本料理

- コロナ禍（2020年～2022年）で飲食業は壊滅的打撃
  - 「コロナ前の状態に戻らない」覚悟とイノベーション決意
- ①地元の魅力発信できる店づくりに転換（自店の強み）
  - ②伝統工芸、組子細工をインテリア（映え）
  - ③桐たんす御膳（加茂伝統工芸品）
  - ④畳和室に椅子席（快適・安心）



### 《イノベーションのポイント》

- ①オリジナリティ、②明解、③極端、④土着的コラボ（連携）

## 伝統工芸

- 加茂紙（和紙）・大湊文吉商店（組子細工）
- 鈴木石太郎タンス店（桐たんす）
- 伝統は革新の連続  
⇒作るための技術をどう伝えていくか

# 3-2. 七谷地区アンケート調査の結果 (粟ヶ岳の麓)

## 七谷温泉美人の湯来訪者 5月25日～10月10日

### ・アンケート項目

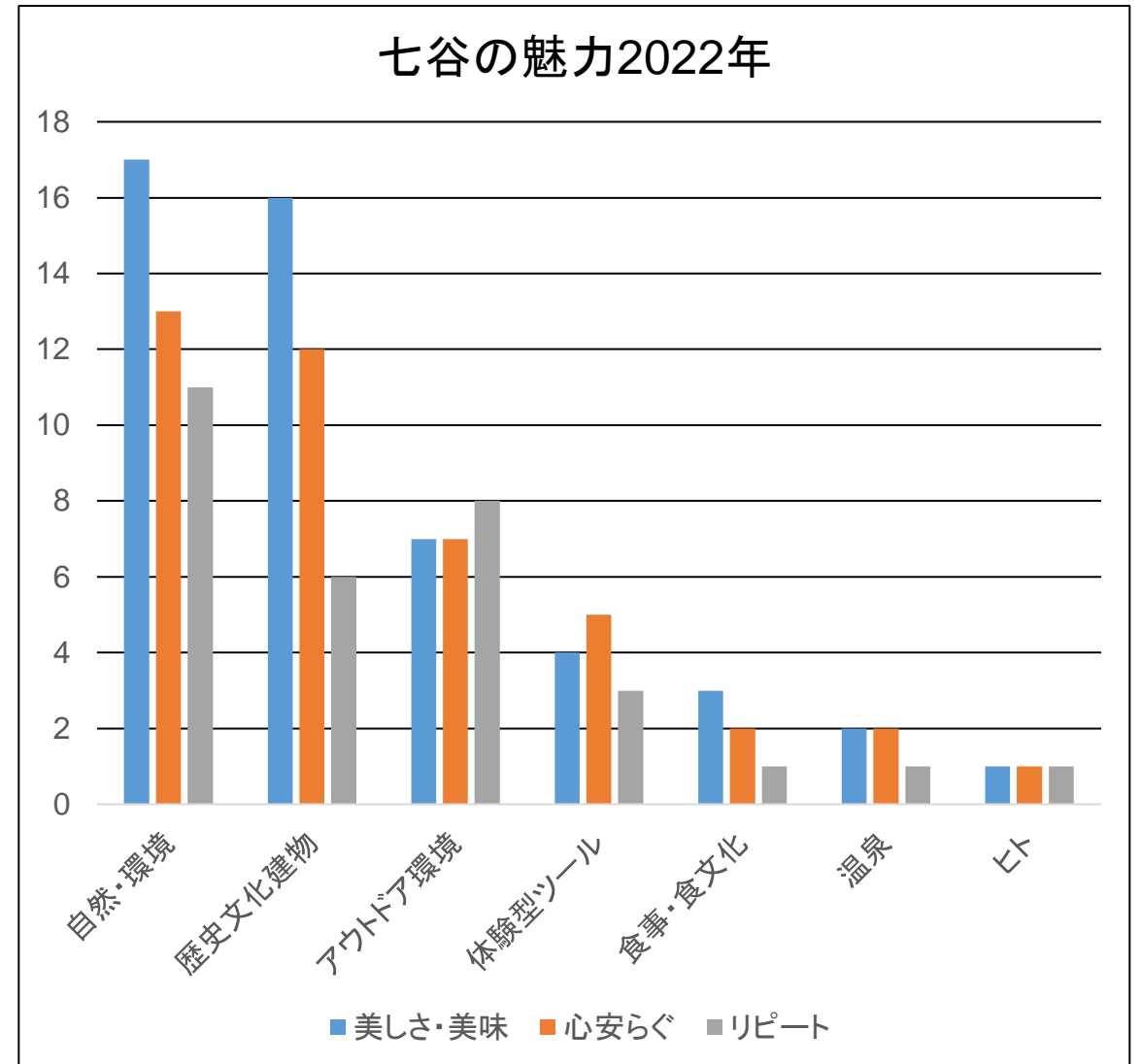
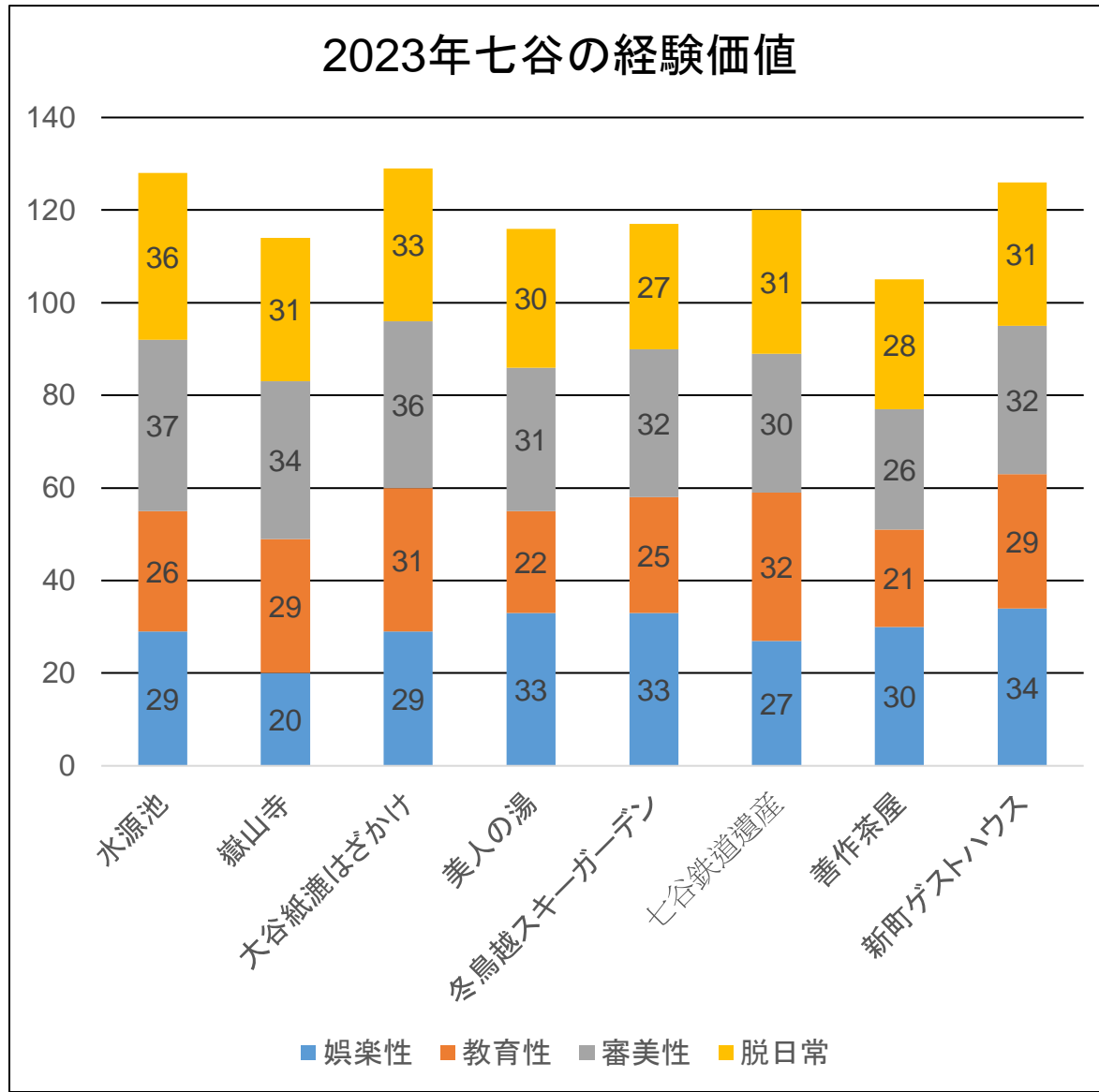
- ①お住まいの地域・②性別・③年齢
- ④同行者とのご関係
- ⑤ご来場の交通機関
- ⑥“美人の湯”滞在時間
- ⑦”美人の湯“情報認知経路
- ⑧過去のご来訪回数と頻度
- ⑨“美人の湯”総合評価(5段階)
- ⑩粟ヶ岳の水源地ご存知ですか
- ⑪七谷棚田、宮寄上ご存知ですか



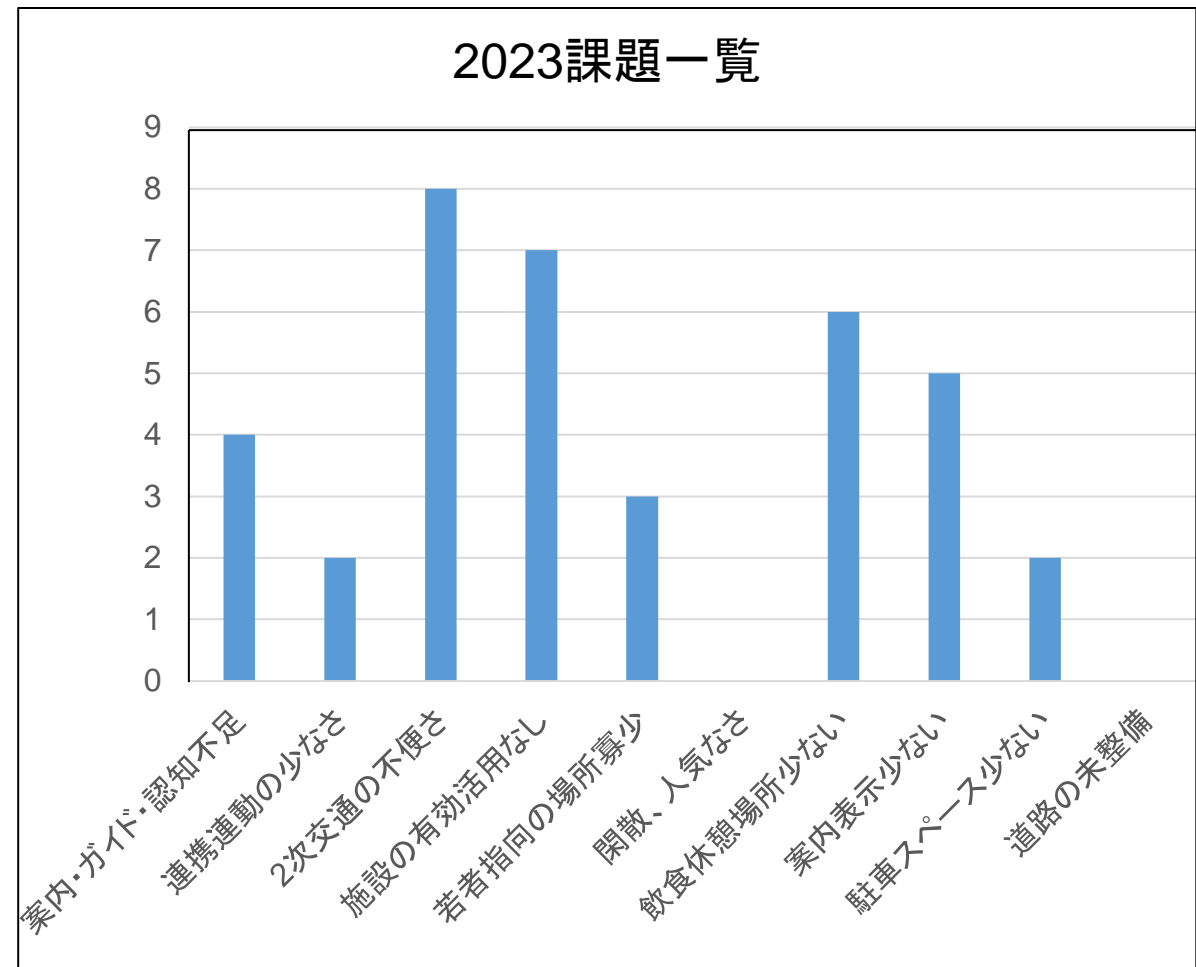
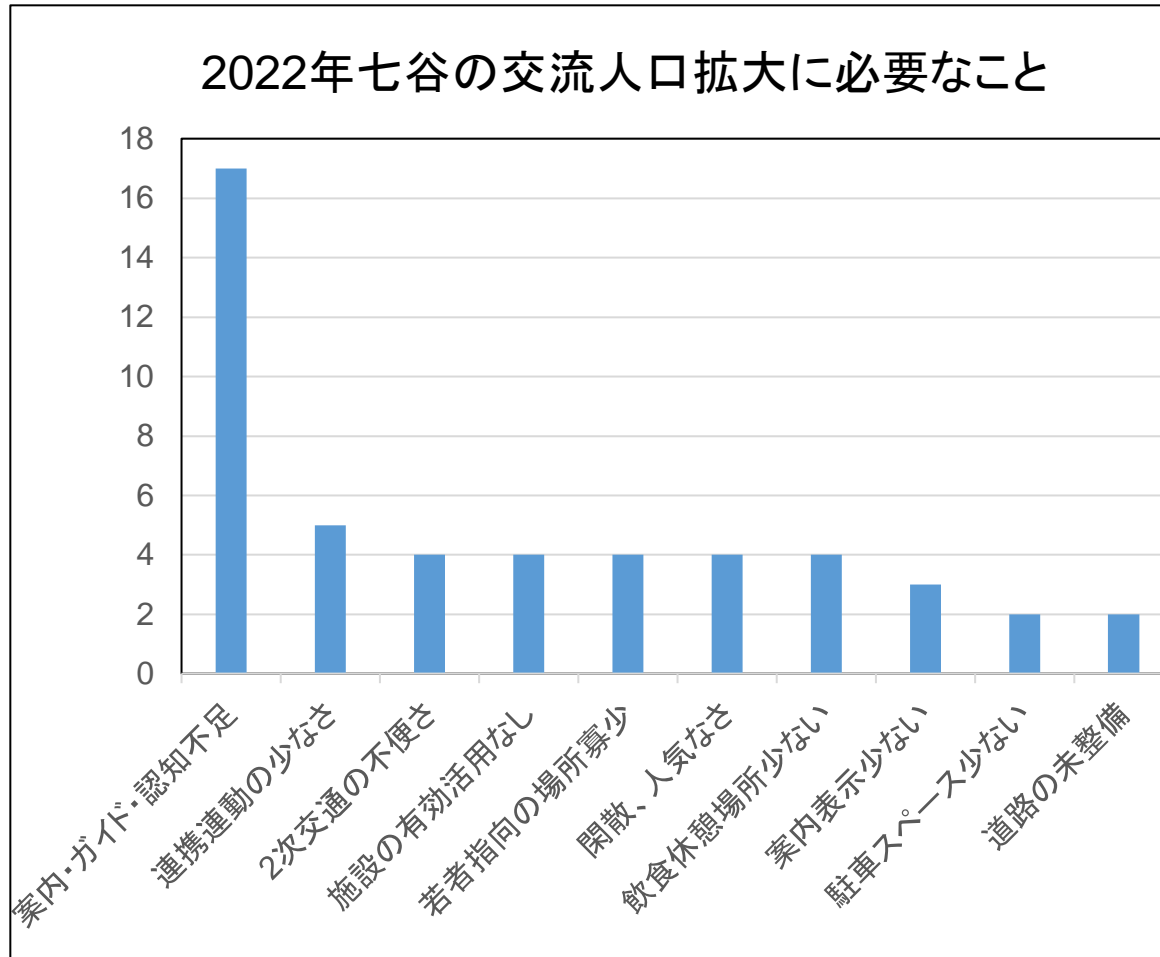
- ⑫2万年前公園、ご存知ですか
- ⑬新潟県で最古の木造電車、ご存知ですか
- ⑭スキーガーデンをご存知ですか
- ⑮加茂市七谷地区の訪問をもっと楽しむため必要なもの道の駅、名物レストラン、河岸棚田ガイド、里山サイクリング、七谷ほたる観賞会、満天の星観賞会、七谷全体マップ七谷米・稲刈り体験、炭焼き体験、キャンプ場、山城体験、道案内の看板、自然薯掘る会、アート(野外芸術)、その他

# 3-3. 学生調査、七谷の経験価値と魅力

(楽しさ・学び・美しさ・脱日常)



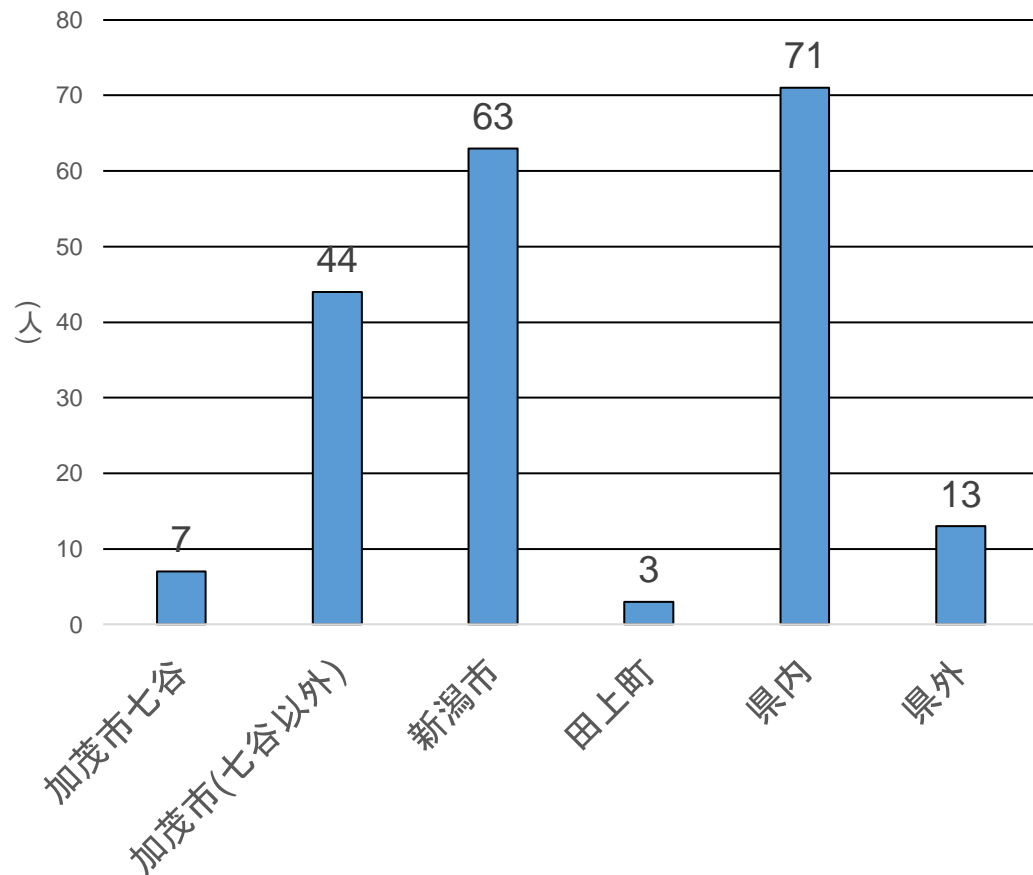
# 3-4. 七谷地区の課題、大学生の意見集約



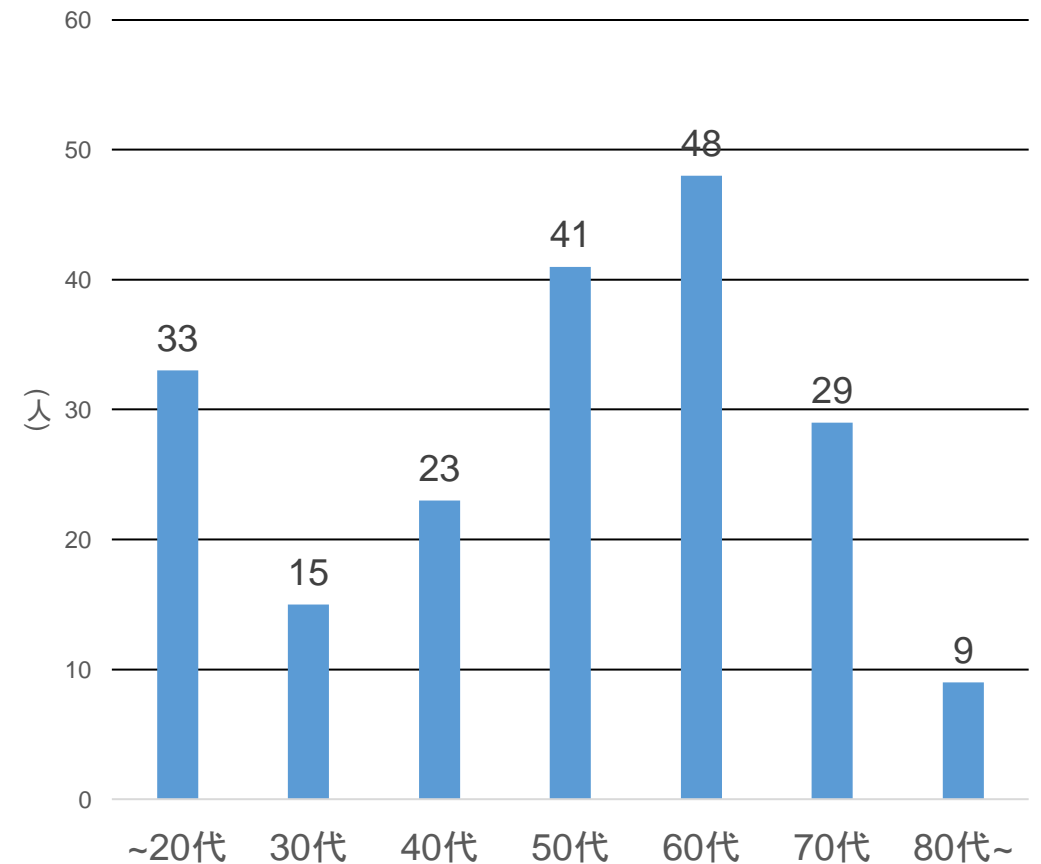


# 七谷への来訪者アンケート結果 (n203)

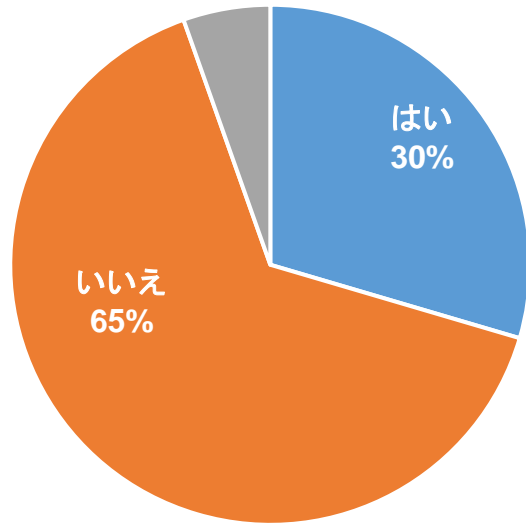
## Q1 お住まいの地域



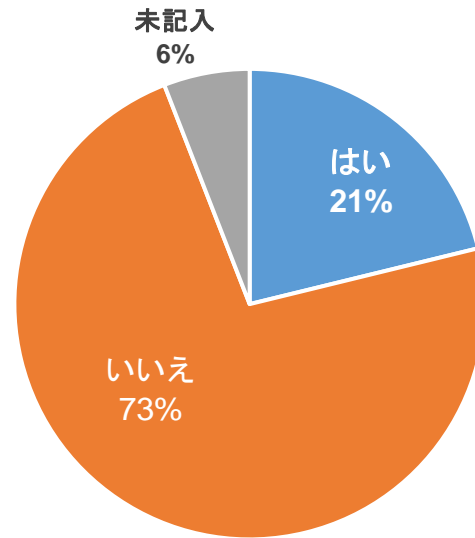
## Q3 年齢



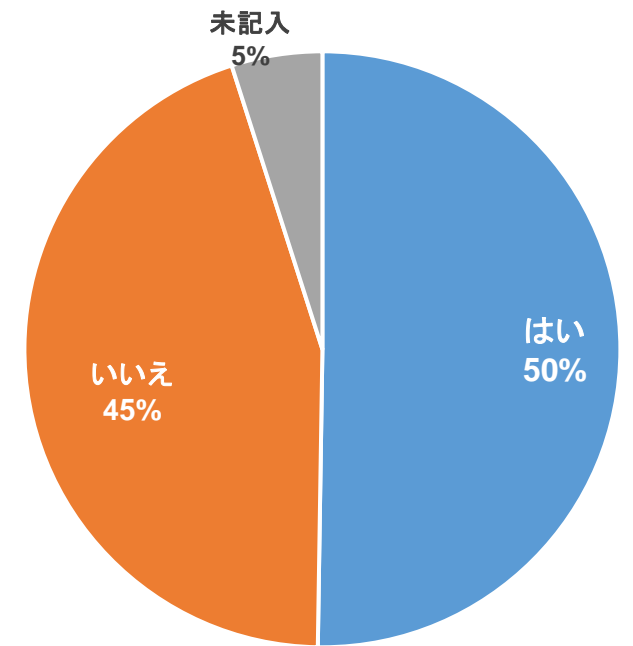
Q11七谷の棚田がある村”宮寄上”を  
ご存じですか



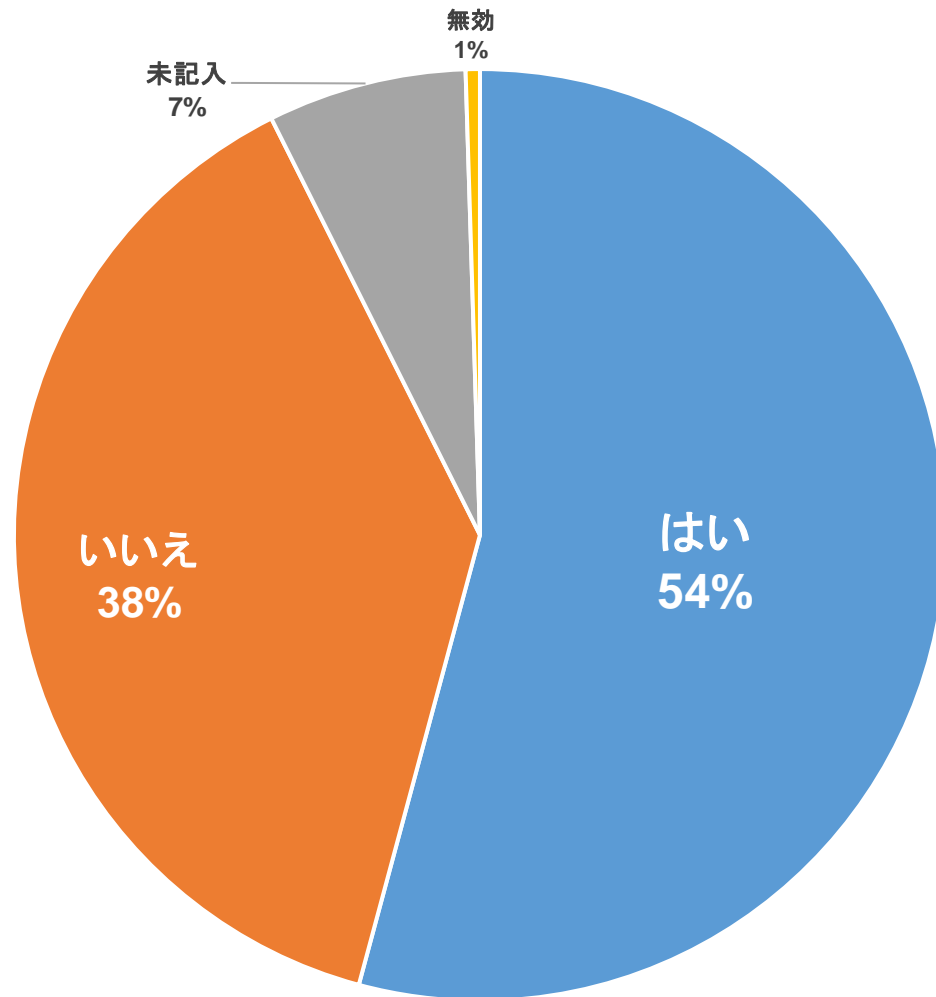
Q12七谷で一番大きなはざかけと”  
2万年前公園”を持つ大谷村をご存  
じですか？



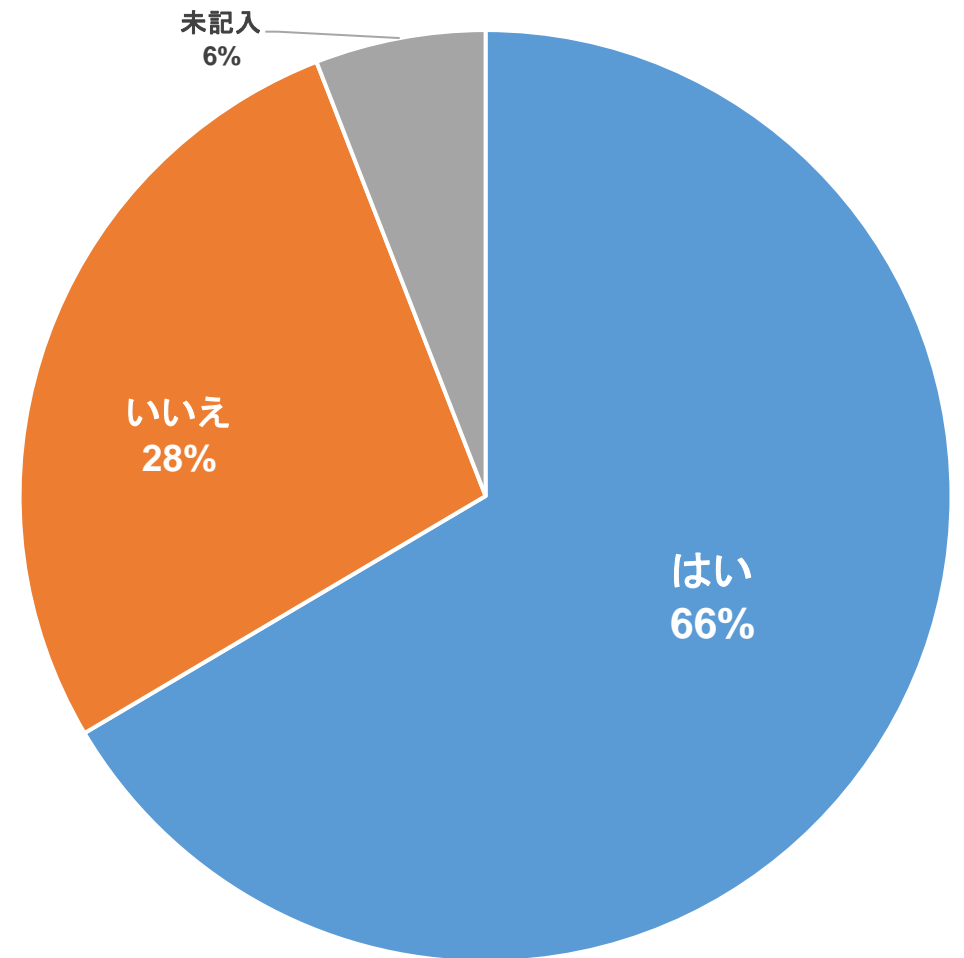
Q10. 粟ヶ岳の”水源地”をご存  
じですか



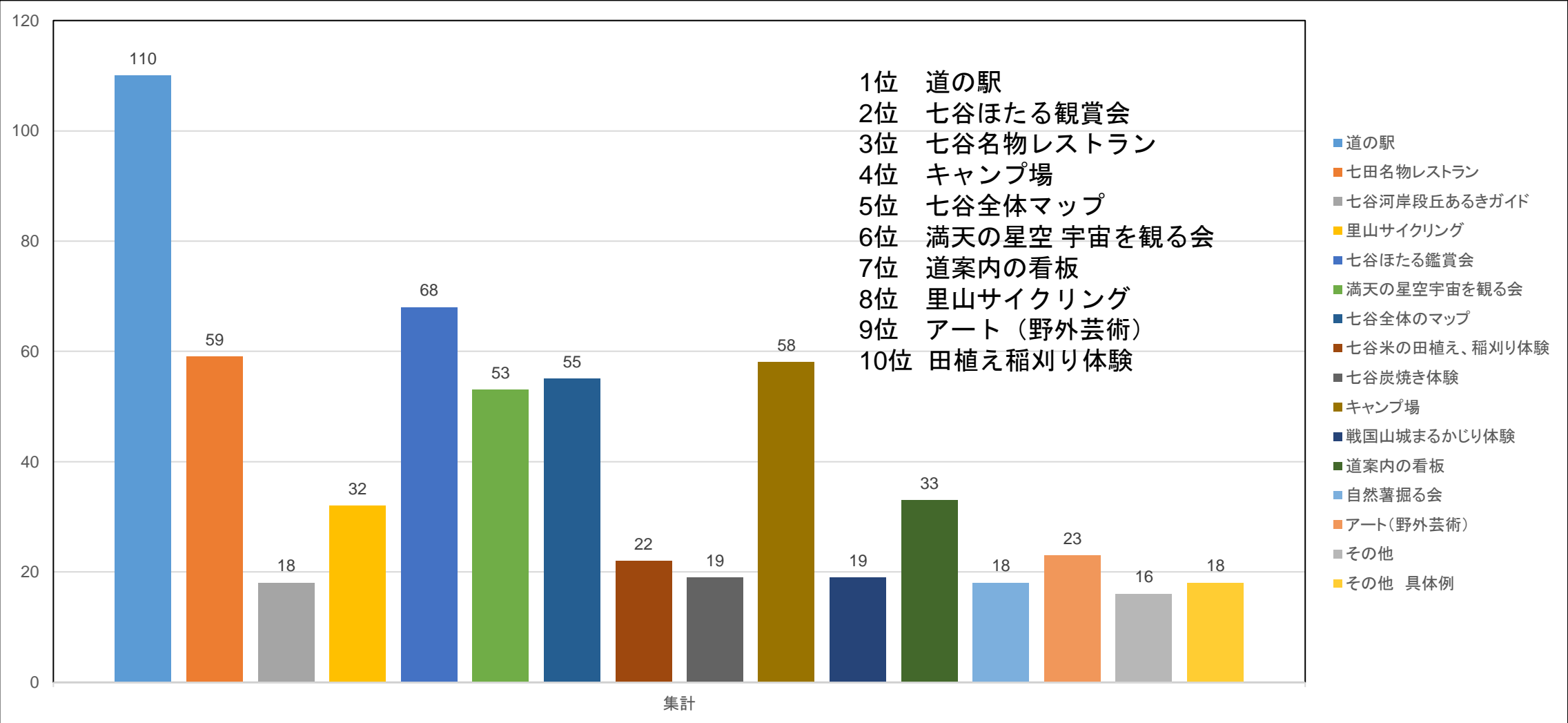
Q13七谷鉄道遺産をご存じですか



Q14冬鳥越スキーガーデンをご存じですか



# Q15. 加茂七谷の滞在をもっと楽しく過ごすために何があればよいですか（体験と交流型観光）



# 3-4. 考察 「何があれば加茂に来訪されますか」

## —加茂にもとめる観光アトラクション要約—

### 加茂商店街、加茂山（複数回答）

- 1位. 加茂の味覚体験（41%） 233件  
加茂郷土食とカフェ文化（歴史と季節食）
- 2位. 体験と交流型観光（25%） 140件  
桐箆笥・着物・加茂紙漉き・組子・名所巡り 等
- 3位. イベント（24%） 139件  
広域・同時・多発・長期間のイベント
- 4位. その他（3%） 9件

### 北越の桃源郷、七谷・美人の湯

- 1位. 野外レジャー（29%） 179件  
ほたる観賞、満天の星、キャンプ 等
- 2位. 道の駅と飲食施設（27%） 169件  
道の駅110件、七谷食堂59件
- 3位. 体験と交流型観光（18%） 116件  
里山サイクリング、七谷米田植えと稲刈り  
自然薯掘りと料理、粟ヶ岳炭焼き、戦国山城
- 4位. 七谷マップ、案内看板（14%） 88件
- 5位. 野外アート、その他（9%） 57件

# まとめ

観光再始動による加茂市商店街活性化の取り組み

⇒ **五感で物語を堪能できる体験イベントの実施**